

【セミナー概要】

近年、車両の電動化・高度化、さらにはSDV（Software Defined Vehicle）の進展に伴い、車載ネットワークの重要性はますます高まっています。車両内では依然としてCAN通信が広く使用されており、その動作原理や通信特性を正しく理解することは、車載ソフトウェア開発やシステム設計において不可欠です。

本セミナーでは、まず車載ネットワークの基本となるCAN通信について、フレーム構造や通信の仕組みを解説するとともに、実際の通信波形を確認しながら動作を理解する実践的な内容で基礎を学びます。これにより、通信トラブルの解析やデバッグに必要な知識を身に付ける事を目的とします。

さらに後半では、車載ソフトウェア開発で広く採用されているAUTOSARのアーキテクチャに触れながら、RTE（Runtime Environment）を活用した車載通信の実装の考え方について解説します。アプリケーションソフトウェアが通信スタックをどのように利用するのか、実際の開発視点から理解を深めます。

【セミナー受講対象者】

- ✓ 車載ソフトウェア開発者
- ✓ 車載ECU開発・評価エンジニア
- ✓ 車載通信（CANなど）の基礎を理解した技術者
- ✓ AUTOSAR環境での開発に関心のある方

【プログラム】

14:00～14:05（5分） 開催ご挨拶

14:05～15:05（60分）

講演題目：波形で見る車載ネットワークの基礎(CAN)

概要：車載SW開発初心者向けに主に駆動・車体等の制御系基幹ネットワークで利用されるCANの概要について解説します。
また、CANアナライザやオシロスコープを用いて、CANのデータや波形を見せながら解説します。

講演者名：株式会社サニー技研
松本 匡史 グループマネージャ様
鈴木 悠真 様

15:05～15:15（10分）休憩

15:15～16:15（60分）

講演題目：AUTOSAR RTE から理解する車載通信

概要：本講演では、車載ソフトウェア開発で広く採用されているAUTOSARのアーキテクチャを背景に、RTE(Runtime Environment)を活用した車載通信実装の考え方を解説します。アプリケーションソフトウェアがAUTOSAR環境において通信スタックをどのように利用しているのかをECU開発・評価の実装視点で整理します。

講演者名：ベクター・ジャパン株式会社
名古屋支社 組込ソフト部
小島 隆弘 様

【参加費】

ASIF 会員 : 無料

ASIF非会員 : 3,000円 (消費税込)

※参加費は、銀行振込 (振込期限5/19、振込手数料はご負担ください)

※振込先口座 : 三菱UFJ銀行柳橋支店 普通預金口座4805255

公益財団法人中部科学技術センター (ASIF)

ヨミ : コウキガ イダ ンホウゾ ンチウブ カガ クギゾ ヲツセンター アス イフ

【定員】

100名

【申込み】 申込期限 : 2026年5月19日 (火)

- ・ 下の各申込フォーム (SECURE FORMサイト) からお申込みください。
- ・ 先着順で受付けます。期限前でも定員になり次第締め切ります。
- ・ お申込み受付後、自動返信メールにて受付票を送信いたします。
- ・ 開催2日前までに会場参加の注意事項等をメールでご案内します。
※オンライン参加の方には、同じく開催2日前までにZoomのURLをお送りします。
当日は受付票を印刷して受付へご提出ください。

迷惑メールフィルタやセキュリティ設定等により、自動返信メールが届かない場合がございます。しばらくお待ちいただいても届かない場合は、おそれいりますが、再度お申込みいただくか、メールで事務局にお問い合わせください。

<会場参加申込フォーム>

<https://www.secure-cloud.jp/sf/1653292849jKGXPQmw>



【問合せ先】

車載組込みシステムフォーラム (ASIF) 事務局

公益財団法人中部科学技術センター イノベーション創出支援室

TEL : 052-231-6723 FAX : 052-204-1469 e-mail : monodukuri@cstc.or.jp

以上